

2002 年 AORC（アジア・オセアニア地域会議）報告

2001 年 2 月にアジア・オセアニア地域会議 AORC が発足し、現在 7 ヶ国（日本、オーストラリア、マレーシア、韓国、タイ、インド、中国）が参加し、活動を行なっている。今年度は 5 月韓国ソウルと 8 月フランスパリで AORC の会議を開催した。

1. 韓国ソウル会議

2002 年 5 月 9 日、10 日に韓国・ソウル市のソウル大学 Hoam Faculty House にて、AORC の Technical Meeting と Administrative Meeting、さらに Technical Visit が行なわれた。日本からは、関根 AORC 委員長、小海 AORC 幹事、JNC 志賀委員長、松浦幹事、加藤幹事、SC34 中部電力竹内委員長、SC22 昭和電線電纜蛸子委員他 SC34 と SC22 国内分科会メンバーを中心に、合計 14 名が参加した。韓国からは 30 名、マレーシアからは 5 名、オーストラリアからは 1 名が参加した。

5 月 9 日の午前中は、開会セレモニー、韓国 NC の活動紹介、韓国 NC からの招待講演 2 件あり。午後は 2 つのセッションに分かれ、SC22、23 関連の架空線、変電所についての議論と SC34 の保護リレーについての議論が行なわれた。その後、AORC 理事会が行なわれ、今後の AORC の活動案として、①SC21 を例とした地域 Panel（仮称：AORP21）、②マレーシアでの AORC の Symposium の提案があった。

翌日 5 月 10 日には、AORC として最初の見学会が開催され、ソウル郊外の 765kV Ansong 変電所を 25 名で見学した。

2. フランスパリ会議

2002 年 8 月 26 日、ホテル Concorde La Fayette にて、AORC の 5 ヶ国（日本、オーストラリア、マレーシア、タイ、韓国）のメンバーが集まり、AORC の Administrative Meeting が行なわれた。今回の会議では、関根議長の後任としてマレーシア TNB の Pian Sukro 氏を新議長に選任した。次回 AORC 会議は 2003 年 4 月に上海シンポジウムにあわせて開催される予定である。詳細はマレーシア NC が中国 NC と相談し決定することとなった。

以 上